



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月28日

上場会社名 キーコーヒー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2594 URL <http://www.keycoffee.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 橋口 芳久 (TEL) (03) 3433-3311
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	42,013	1.7	1,380	165.8	1,589	128.5	912	386.7
24年3月期第3四半期	41,316	9.8	519	△41.6	695	△35.3	187	△65.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,016百万円(411.9%) 24年3月期第3四半期 198百万円(△60.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	41.22	—
24年3月期第3四半期	8.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	46,475	33,811	70.4
24年3月期	44,575	33,033	71.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 32,697百万円 24年3月期 31,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,400	1.2	890	—	1,140	343.7	990	—	44.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	22,464,000株	24年3月期	22,464,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	330,089株	24年3月期	329,534株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	22,134,111株	24年3月期3Q	22,134,755株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日までの9ヶ月間）における当社グループを取巻く経営環境は、東日本大震災の影響から緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州金融問題や電力料金の値上げ、低調なまま推移している個人消費など厳しい状況が続きました。

コーヒー業界は、ここ数年高値圏で推移していたコーヒー生豆相場が最高値圏を脱したものの先行きは不透明であり、また、コーヒー以外の製品についても主原料となる穀物類の国際相場が高騰するなど、予断を許さない状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力を生活者にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「品質第一主義」の経営理念に基づき、「収益性の改善」と「市場競争力の強化」を2つの柱として新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発、お客様との絆を深める企画提案型の営業活動を展開し、業績の回復に努めてまいりました。

また、当社は、株式会社銀座ルノアールと経営資源を相互に活用することを目的に、資本・業務提携に向けた協議に入る旨の基本合意書を平成24年11月に締結しました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、420億13百万円（前年同期比1.7%増）となりました。利益面は大きな影響を受けた東日本大震災以前の状況まで回復しつつあり、営業利益は13億80百万円（同165.8%増）、経常利益は15億89百万円（同128.5%増）、四半期純利益は9億12百万円（同386.7%増）となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

(コーヒー関連事業)

業務用市場では、「トアルコトラジャ コーヒー」や「氷温熟成珈琲」など差別性の高いプレミアムコーヒーの拡販活動を推進しました。また、お取引先への支援策として、「パスタフェア」や「ほっと和むシチューフェア」などを実施するとともに、「きのこのクリームシチュー」などの新商品を発売しました。また、カフェビジネスを成功に導くスキルや最新の情報提供を充実させる施策の一つとして、アメリカやカナダで開催されている体験型講座である「バリスタネーション」を日本で初めて5月に開催しました。

家庭用市場では、春夏商品として大正時代の味わいを再現した「横濱1920 CLASSIC」をドリップオンの形態で新発売しました。手軽にカフェ気分が味わえる割りカフェシリーズに「抹茶オレベース」、「バナナオレベース」の新商品を投入、水出しコーヒーシリーズには「氷温熟成珈琲 水出し珈琲」を新たに投入しました。秋冬商品としては、専用圧力缶を開発し、煎りたて、挽きたて直後の香り豊かな「ヴァージンアロマ」と一定時間経過後の「セカンドアロマ」を融合させて、味と香りが際立つ新次元のコーヒー「天使のアロマ」シリーズなどを発売しました。

ギフト商品では、中元期に「氷温熟成珈琲 アイスコーヒー」や「氷温熟成水出し珈琲&ドリップオン」を詰合わせたギフトなど全42アイテムをラインアップしました。歳暮期には、「“煎りたて、挽きたて”の新次元の香りを贈り物に！」をテーマとし、iTQi（国際味覚審査機構）『優秀味覚賞』を3年連続受賞した「トアルコトラジャ コーヒー」の詰合わせギフトなど全23アイテムをラインアップしました。

また、2012年度モンドセレクションにおいてもアロマフラッシュ「鮮やかな香り キリマンジェロブレンド」が2年連続『最高金賞』を受賞し、2012年iTQiにおいては、「真空パック（VP）スペシャルブレンド」が『優秀味覚賞 “三ツ星”』を受賞するなど、数々の当社製品が高く評価されました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は357億72百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は16億13百万円（同94.1%増）となりました。

(飲食関連事業)

株式会社イタリアントマトでは、「サマースイーツフェア」「夏のフードフェア」「夏のコールドドリンクフェア」などの販促策を実施しました。また、「国内は充実」「海外は拡大」の方針の下、国内では消費動向を慎重に見据えて堅実な出店を目指して大学キャンパス内などへの出店を行い、海外ではアジア地域での新規出店を進め、中国福建省廈門市に「イタリアン・トマト カフェ アモイ中華城店」、香港では2店目となる「和茶房 鎌倉 夢見屋 香港上環店」などを出店した結果、国内外に13店舗を出店しました。一方、不採算店11店を閉鎖し、店舗数は305店（直営店77店、F C店228店）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における株式会社アモンドを含めた飲食関連事業の売上高は46億83百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は24百万円（同158.2%増）となりました。

(その他)

当第3四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は15億57百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は1億3百万円（同20.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べて18億99百万円増加し、464億75百万円となりました。

流動資産は22億95百万円増加し、253億37百万円となりました。これは現金及び預金の増加（10億77百万円増）、受取手形及び売掛金の増加（15億88百万円増）などによるものであります。

固定資産は3億95百万円減少し、211億37百万円となりました。有形固定資産は、建物及び構築物、機械装置及び運搬具等の減価償却が新規取得額を上回ったことなどにより6億30百万円減少しました。無形固定資産は64百万円増加し、投資その他の資産は投資有価証券の増加（3億2百万円増）などにより1億69百万円増加しました。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べて11億21百万円増加し、126億63百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて10億40百万円増加し、99億54百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加（4億82百万円増）などによるものであります。

固定負債は81百万円増加し、27億8百万円となりました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて7億78百万円増加し、338億11百万円となりました。これは利益剰余金の増加（6億91百万円増）などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年1月28日公表の「特別利益の計上見込及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,558	8,636
受取手形及び売掛金	7,024	8,613
有価証券	5,387	5,187
商品及び製品	1,207	1,203
仕掛品	190	179
原材料及び貯蔵品	1,060	968
繰延税金資産	218	234
その他	422	349
貸倒引当金	△27	△34
流動資産合計	23,042	25,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,462	6,193
機械装置及び運搬具（純額）	1,887	1,687
土地	6,456	6,315
その他（純額）	690	669
有形固定資産合計	15,496	14,866
無形固定資産		
のれん	157	148
その他	305	379
無形固定資産合計	463	528
投資その他の資産		
投資有価証券	3,153	3,455
長期貸付金	219	173
繰延税金資産	175	185
差入保証金	1,763	1,711
その他	601	503
貸倒引当金	△340	△286
投資その他の資産合計	5,572	5,742
固定資産合計	21,532	21,137
資産合計	44,575	46,475

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,611	6,093
短期借入金	584	448
未払金	1,100	1,312
未払法人税等	276	587
繰延税金負債	0	—
賞与引当金	278	259
その他	1,062	1,252
流動負債合計	8,914	9,954
固定負債		
長期借入金	112	22
繰延税金負債	1	0
再評価に係る繰延税金負債	557	557
退職給付引当金	1,056	1,241
資産除去債務	264	268
その他	634	618
固定負債合計	2,627	2,708
負債合計	11,541	12,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,465	4,465
資本剰余金	4,873	4,873
利益剰余金	26,554	27,245
自己株式	△541	△542
株主資本合計	35,352	36,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195	284
土地再評価差額金	△3,624	△3,623
為替換算調整勘定	△4	△5
その他の包括利益累計額合計	△3,433	△3,344
少数株主持分	1,114	1,113
純資産合計	33,033	33,811
負債純資産合計	44,575	46,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	41,316	42,013
売上原価	29,783	29,342
売上総利益	11,532	12,670
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び見本費	831	874
荷造運搬費	840	846
車両費	387	373
貸倒引当金繰入額	31	39
役員報酬	271	272
給料及び賞与	4,428	4,469
賞与引当金繰入額	143	201
退職給付引当金繰入額	425	329
福利厚生費	669	707
賃借料	807	871
減価償却費	279	298
消耗品費	241	267
研究開発費	151	157
その他	1,501	1,579
販売費及び一般管理費合計	11,013	11,290
営業利益	519	1,380
営業外収益		
受取利息	38	28
受取配当金	64	88
為替差益	—	9
受取家賃	30	32
その他	68	67
営業外収益合計	201	226
営業外費用		
支払利息	12	11
持分法による投資損失	2	0
為替差損	5	—
その他	4	5
営業外費用合計	25	17
経常利益	695	1,589
特別利益		
固定資産売却益	0	25
投資有価証券売却益	—	7
負ののれん発生益	26	7
受取賠償金	—	17
特別利益合計	27	57

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	—	9
固定資産除却損	21	—
投資有価証券評価損	5	13
会員権売却損	6	1
貸倒引当金繰入額	38	—
事業整理損	19	—
災害損失	42	—
その他	0	—
特別損失合計	135	23
税金等調整前四半期純利益	587	1,622
法人税、住民税及び事業税	375	771
法人税等調整額	16	△77
法人税等合計	392	694
少数株主損益調整前四半期純利益	195	928
少数株主利益	7	15
四半期純利益	187	912

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	195	928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	88
土地再評価差額金	77	0
為替換算調整勘定	1	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	3	88
四半期包括利益	198	1,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190	1,001
少数株主に係る四半期包括利益	8	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	587	1,622
減価償却費	998	980
負ののれん発生益	△26	△7
固定資産除却損	21	—
固定資産売却損益(△は益)	△0	△16
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△7
投資有価証券評価損益(△は益)	5	13
受取賠償金	—	△17
会員権売却損益(△は益)	6	1
事業整理損失	19	—
災害損失	42	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	54	△8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△159	△19
退職給付引当金の増減額(△は減少)	291	187
受取利息及び受取配当金	△102	△117
支払利息	12	11
持分法による投資損益(△は益)	2	0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,826	△1,588
たな卸資産の増減額(△は増加)	△577	107
仕入債務の増減額(△は減少)	2,114	482
未払金の増減額(△は減少)	△2	215
その他	216	303
小計	1,678	2,144
利息及び配当金の受取額	82	106
利息の支払額	△12	△11
受取賠償金の受取額	—	17
災害損失の支払額	△162	—
法人税等の支払額	△297	△454
法人税等の還付額	74	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,363	1,847

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△4,000	△5,500
有価証券の償還による収入	4,000	5,500
投資有価証券の取得による支出	△221	△438
投資有価証券の売却及び償還による収入	410	487
有形固定資産の取得による支出	△437	△444
有形固定資産の売却による収入	1	177
無形固定資産の取得による支出	—	△91
その他	87	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158	△246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	98	401
短期借入金の返済による支出	△85	△461
長期借入金の返済による支出	△135	△165
配当金の支払額	△330	△220
その他	△58	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510	△520
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	691	1,077
現金及び現金同等物の期首残高	7,136	7,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,828	9,023

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コーヒー 関連事業	飲食 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,824	3,921	39,745	1,570	41,316	—	41,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	342	1	343	1,160	1,504	△1,504	—
計	36,166	3,922	40,089	2,731	42,820	△1,504	41,316
セグメント利益	831	9	840	86	927	△407	519

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。
2. セグメント利益の調整額 △4億7百万円には、セグメント間取引消去 4百万円、棚卸資産の調整額 △17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △3億94百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コーヒー 関連事業	飲食 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,772	4,683	40,455	1,557	42,013	—	42,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	353	2	356	1,107	1,464	△1,464	—
計	36,126	4,685	40,812	2,665	43,477	△1,464	42,013
セグメント利益	1,613	24	1,637	103	1,741	△361	1,380

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。
2. セグメント利益の調整額 △3億61百万円には、セグメント間取引消去 5百万円、棚卸資産の調整額 30百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △3億97百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。